

患者優先の 医療を目指して

Compassion

-Humanity & Empathy in Medicine-



あなたの100年の健康のために



東京都港区虎ノ門一丁目12番9号 スズエ・アンド・スズエビル4階
TEL.03-3501-0130(受付時間 平日 9:00~17:00)
FAX.03-3580-2490



この会社案内は、環境にやさしい「水なし印刷」「Non-vocインキ」で印刷しています。



私たちの目指す先

Where We Go From Here

医学への情熱と深い献身

逆境をバネに、世界を駆け抜けた日本人医学者・野口英世一。

野口英世は1歳半のときに左手に大やけどを負い、その手術をきっかけに医学の素晴らしさに目覚め、医学者の道を志します。

貧しい寒村の生まれでしたが多くの人々の支援を受け単身渡米。

恵まれない環境をもとめせず、

不眠不休の凄まじい努力で研究に没頭し、細菌学者としての名声を高めていきます。アフリカのガーナで黄熱病の研究の途中、自身も感染して51歳の若さで亡くなるまで、世界の医学・医療の発展の為に情熱を燃やし続けました。

その業績を記念し、1983年、野口英世ゆかりのペンシルベニア大学が拠点を構えるフィラデルフィアに、米国財団法人野口医学研究所を設立。野口英世のような熱意と根気を持つ医療従事者を育てるべく、私たちの挑戦は始まりました。

未来の日本の医療のために

これからの時代に求められること。

それは、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、各セラピスト、医療ソーシャルワーカーが平等な立場で協働できるチーム医療の普及。そして、スペシャリストであると同時に、どんな状況でも対応できるジェネラリスト・ドクターの育成です。

これらを実現する為に、私たち米国財団法人野口医学研究所は、教育システムや研修プログラムの開発、シンポジウムやセミナー、ワークショップの開催などにも力を注いでいます。

日本中に“患者優先の医療”、“Compassion・Humanity & Empathy in Medicine”の精神を根づかせながら、医療現場の環境と雰囲気を変えていくこと。そこから、日本の医療の未来が切り拓かれていくと信じて、私たちはこれからも活動を続けていきます。



米国財団法人野口医学研究所
創立者・名誉理事
浅野 嘉久



野口医学研究所の活動をまとめた
5分間のドキュメンタリー動画



野口グループが果たす役割

Roles of Noguchi Group

医学界を支え続けるために

米国財団法人野口医学研究所は、国際医学教育と医学交流を目的として発足し、米国政府から免税措置[免税コード501(c)(3)]を受けた財団法人です。

そして、その全ての奨学金は株式会社野口医学研究所の収益事業によって賄われています。

教育事業とそれらを支える収益事業により野口医学研究所グループは構成されており、株式会社野口医学研究所が得た収益金は、医師、並びに医学生の育成に充てられています。

非営利活動

米国財団法人 野口医学研究所
NPO法人 野口医学研究所
一般社団法人 野口医学研究所
一般社団法人 ステロラ基金

Compassion
-Humanity & Empathy in Medicine -

国際交流促進の為、医師や医学生をはじめとする医療従事者の海外留学支援など幅広い活動に取り組んでいます。

サービス

営利活動

株式会社 野口医学研究所

ここに寄り添う
「美と健康」を

野口英世博士の顔写真を事業に活用できる唯一の企業として、その優位性を活かし、多様な商品の開発やサービスを展開しています。



健康経営
(ここからヘルス®)



ヒリエンス®
ツアー



専門家向け
セミナー



野口ドクター
ホットライン®



お客様相談室
代行



野口
メディカルツアー



海外保険調査



臨床試験



意見書作成



野口品質推奨

商品



自社商品の
企画製造/販売



OEM/ODM

健康経営を支援

Supporting Health Management



管理栄養士による “食”の健康支援

企業の健康経営の一環として、社員の皆さまへ“食”に関する相談会やセミナー、研修旅行など、個々の関心度やニーズに合ったサービスをご提案しています。食の専門家である管理栄養士や栄養士が、効果的な健康経営の取り組みをサポートします。



社員の皆様向け健康サポートサービス(ここからヘルス®)

社員の皆様の“食”に関する課題を、管理栄養士や栄養士がアンケートや健診結果を基に明確化し、骨密度やAGEs(最終糖化産物)などの測定会やセミナーの実施、一人ひとりの食生活に合わせた個別相談、食に関連したコラムやDM作成など、効果的なオリジナルプログラムをご提供します。



からだ測定会

骨密度・肩こり・肌水分・AGEs(最終糖化産物)測定などで皆様の身体の状況をチェックします。測定を通してイベントを実施することで社員の皆様の興味や関心を高めます。測定結果を基に管理栄養士や栄養士が個別や集団で茶話会形式で楽しく食生活のアドバイスを行い、社員の皆様の健康意識の向上と生活の改善を促します。



個別相談

社員の皆様の健診結果や健康状態を確実に改善させたい場合は、一人ひとりに合わせた「個別相談」をお勧めしています。具体的な数値目標を設定するだけでなく、それぞれの生活習慣に合わせ、その日から実践できることを提案しながらカウンセリングを行います。



座談会／セミナー

食事の基本だけでなく、事前アンケート(社食の有無、コンビニや外食の利用頻度、就業状況など)を行い、社員の皆様の課題を把握し、改善する為の食事の工夫の仕方や選び方、おすすめメニューなどを踏まえてお話をします。



ヒリエンス®ツアー

「ヒーリング」「サイエンス」「センス」の3つを掛け合わせたヒリエンス®ツアーでは、心身共に健康になれる研修旅行を提案しています。大自然に囲まれながら五感を使って心身のメンテナンスを行い、忙しい日常で忘れがちな感覚を取り戻し、毎日の生活に小さな変化をもたらすことが目的です。

独自の医療ネットワークを活かして

当社では、管理栄養士の他、医師や看護師、薬剤師などの専門家が医療・健康面の悩みや相談にお応えしています。

1990年代から開始した「野口ドクターホットライン®」を筆頭に、数多くの相談実績を築き上げてきました。

現在は、外国人に対する適切な日本の医療機関紹介など、世界に通ずる新しいサービスも展開しています。



野口ドクターホットライン®

医師や看護師などの有資格者が24時間365日、健康や医療に関するあらゆる相談に応じます。1990年から提供しているサービスで多くの企業の福利厚生としても活用していただいています。

お客様相談室代行

専門的な知識を持った管理栄養士や看護師が、お客様相談室を代行します。お客様に対するサービスの向上とコストの削減を同時に実現できる当社独自のサービスです。

専門家向けセミナー

かかりつけ薬剤師や管理栄養士向けの多様な研修やセミナーを開催しています。これからの医療現場で求められる専門家としての役割を果たす為、米国で臨床を経験してきた医師や、サプリメントの開発やお客様相談室に携わってきた管理栄養士が講師として研修を行い、スキルアップを図ります。



その他のサービス 野口メディカルツアー／調査／第三者評価

野口メディカルツアー

日本の最先端医療の受診を希望する外国人に対し、独自のネットワークで患者様の病状に適した医療機関をご紹介します。医療機関での受け入れ可否判断や受診予約、アフターフォローまで包括的にコーディネートします。



臨床試験

商品の安全性や有効性を裏付けるエビデンスを証明する為の臨床試験を受託しています。



海外保険調査

保険会社の給付金支払いに関し、治療内容や障害の状態、事故の状況、診断書の内容について専門医やバイリンガルスタッフが海外の病院に電話やメールで事実確認を行います。



※対象地域：主に中国・韓国・欧米・東南アジア諸国など

意見書作成

保険会社の保険金支払い査定のエビデンスや、医療過誤案件などの弁護を裏付けるため、医師による意見書を作成します。



多様な商品の企画販売

Products Plans & Sales

野口

サプリメントシリーズ

当社の商品は、医師や薬剤師、管理栄養士などの専門家が企画立案から関わり、医薬品製造工場、または健康食品GMP工場で作られている安心安全な商品です。エビデンスに基づいた商品であることはもちろん、使用する原料のトレーサビリティも確立しています。



取扱商品(一部)



新健康活力製品シリーズ

新健康活力製品シリーズは野口医学研究所が自信を持ってお届けする高品質なサプリメントシリーズです。



おとなの肝油ドロップシリーズ

昔ながらの本物の鮫肝油が入っている肝油ドロップです。子どもから高齢者まで幅広い年代で美味しく栄養補給が出来ます。



塗るグルコサミンシリーズ

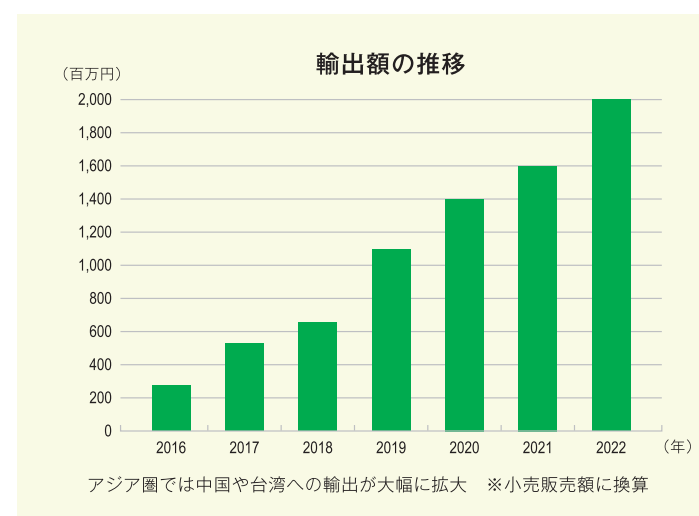
いつでもどこでも気になった時に使える“塗るタイプ”のグルコサミンです。肌に馴染みやすい性質をもったエミュールオイルを配合し、浸透性のよいクリームに仕上げました。

OEM/ODM

商品開発の実績を活かし、OEMやODMの提案を行っています。医師や薬剤師、管理栄養士など、有資格者が商品を企画し、製造から納品後のアフターフォローまで一貫して行います。



ご要望をお伺いしながら商品の企画提案を行います



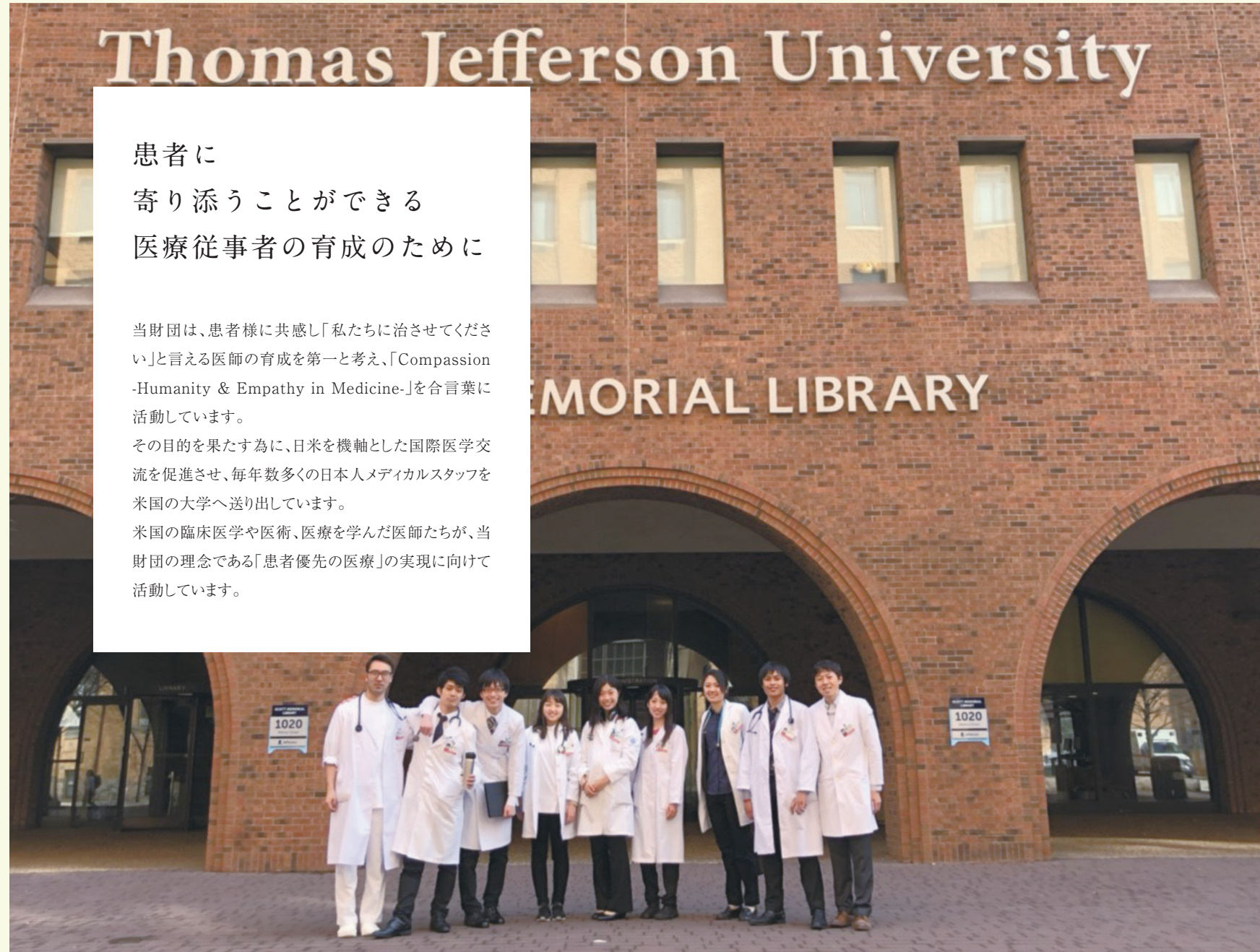
野口医学研究所の商品は、国内のみならず、アジア各国や米国など世界中に輸出されており、その海外輸出量は年々大幅に増加しています。

CSR活動

CSR Activities

株式会社野口医学研究所

米国財団法人野口医学研究所



患者に 寄り添うことができる 医療従事者の育成のために

当財団は、患者様に共感し「私たちに治させてください」と言える医師の育成を第一と考え、「Compassion-Humanity & Empathy in Medicine-」を合言葉に活動しています。

その目的を果たす為に、日米を機軸とした国際医学交流を促進させ、毎年数多くの日本人メディカルスタッフを米国の大学へ送り出しています。

米国の臨床医学や医術、医療を学んだ医師たちが、当財団の理念である「患者優先の医療」の実現に向けて活動しています。

日本を支える医療人の育成の為に 国際留学システム

患者優先の医療を担う人材を育成する為、医師、医学生を対象に米国を始めとする各国の提携大学への留学支援を行っています。



最新の医学情報を提供する セミナー・講演会の実施

留学に必要な知識を身につけるためのセミナーや国内外の最新の医学教育に関するミニレクチャーを行っています。選考会に合わせてフェロー講演会を開催するなど、さまざまなテーマに沿って学びの場を提供しています。



当財団が築いた 医師の国際ネットワーク

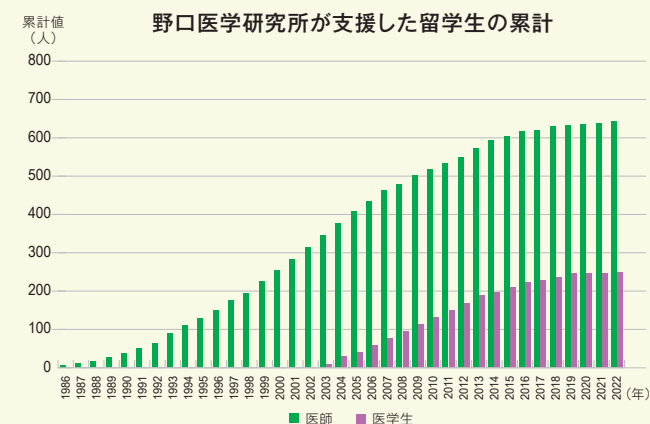
留学先の大学病院で活躍する若手医師や、海外研修を終えた医師たちが集まる場を設け、医師の国際ネットワークを強化し、更なる医学の発展に貢献しています。



約40年間の実績

日本の医学は、米国を始めとする諸外国から多くのことを学び、目覚ましい発展を遂げてきました。その大きな要因と言える国際医学交流を今後も促進させる為、当財団では毎年有能な人材を医療先進国の米国へ送り出しています。米国留学から帰国した医師たちは、これからの日本の医療に不可欠な患者優先の医療システムの実現を目指し、活躍しています。

留学生を含む医学交流活動参加者で構成される野口アラムナイは1,300名を越え、そのネットワークは世界へ広がり、日本の医療の発展に大きく貢献しています。

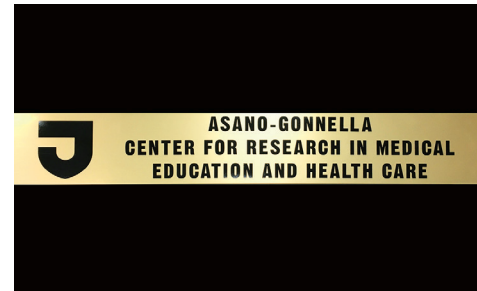


世界の医学を支える為の 教育団体・研究への支援

医学の発展に貢献するため、収益事業で得た資金を国内外の医療系大学への奨学金や医学教育プログラムの共同開発、及び野口英世アフリカ賞への支援に充てています。



地道な活動が大きな功績に



2019年11月

1990年からの国際医学教育&交流活動の実績が認められ、トーマス・ジェファソン大学の医学教育センターに創立者 浅野嘉久の名前が刻まれました。

Social Action Program

次世代の医療の発展につながるアクションを

株式会社野口医学研究所の売上金は、米国財団法人野口医学研究所を通じて、医師や看護師、薬剤師、管理栄養士など医療従事者の国際医学交流活動資金に使われています。

2023年3月

アフリカにおける感染症対策の功績者をたたえることを目的に設立された「野口英世アフリカ賞」への支援に対し、岸田文雄内閣総理大臣より感謝状が送られました。



2023年4月

ハワイ州の代表的な教育機関であるハワイ大学への永年の貢献と支援が認められ、ホノルル市により2023年4月14日が「Dr.浅野嘉久&野口医学研究所の日」に制定されました。

